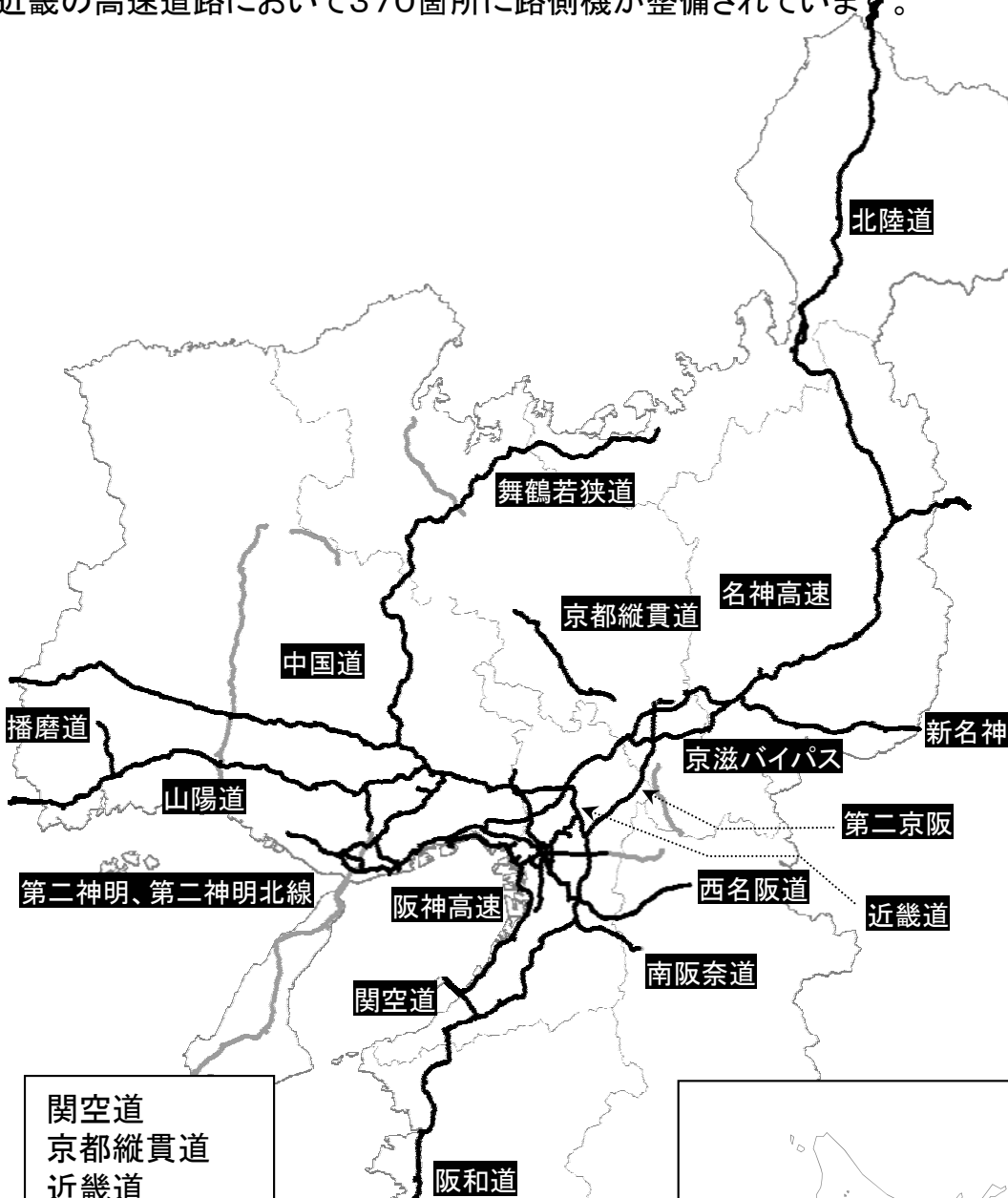


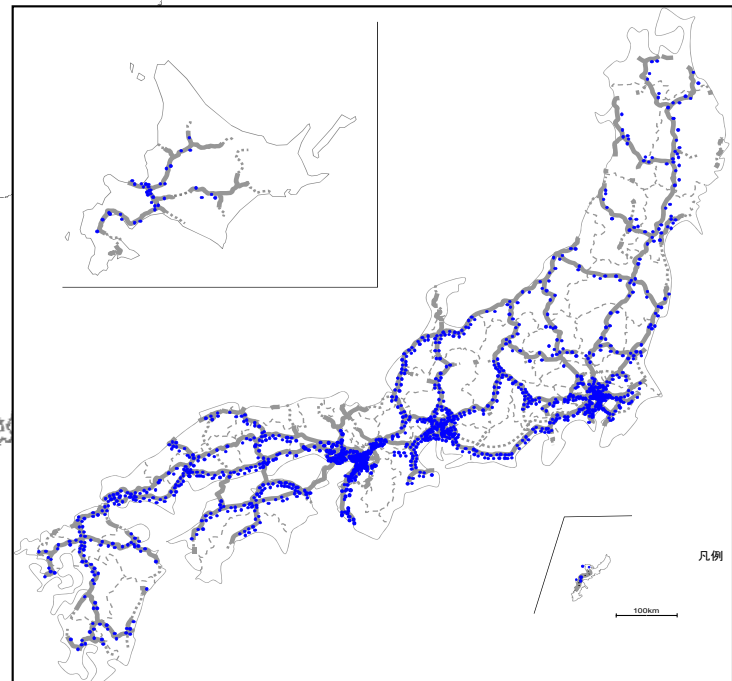
近畿地方のITSスポットサービス ルートマップ

近畿地方の18路線、1,182kmの高速道路でITSスポットサービスが受けられます。

- 近畿の高速道路において370箇所にも路側機が整備されています。



- 関空道
- 京都縦貫道
- 近畿道
- 京滋バイパス
- 山陽道
- 新名神
- 第二神明
- 第二神明北線
- 第二京阪
- 中国道
- 西名阪道
- 播磨道
- 阪神高速
- 阪和道
- 北陸道
- 舞鶴若狭道
- 南阪奈道
- 名神高速



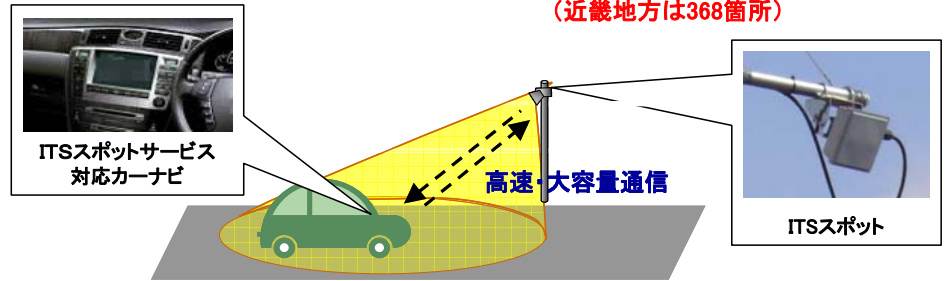
- 全国の高速道路においても1,600箇所のITSスポットが整備されています

ITSスポットサービスとは

- 道路に設置された「ITSスポット」と、自動車に搭載された「ITSスポット対応カーナビ」との高速で大容量の通信により、リアルタイムで多彩な道路交通情報等を提供する新しいサービスです。

○ITSスポット対応カーナビが
2009年10月から発売開始

○ITSスポットを全国で整備
(高速道路上を中心に全国約1,600箇所)
(近畿地方は368箇所)



3つの基本サービス

I ダイナミックルートガイダンス (広域な道路交通情報でカーナビが賢くルート選択)

- 府県をまたぐ広域でリアルタイムな道路交通情報の提供を実現しました。
- これにより、郊外から大阪都市圏へ入る地点で、大阪都市圏の高速道路全ての情報を提供し、対応カーナビが目的地までの最適ルートを案内します。
- くわえて、大阪から四国へ向かう場合も、四国までの情報を提供し、対応カーナビが目的地までの最適ルートを案内します。
- また、分かりやすい簡易図形も表示します。



図1 ダイナミックルートガイダンスのイメージ

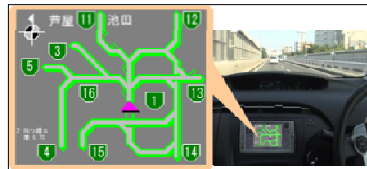


図2 簡易図形の提供

II 安全運転支援 (ドライブ中のヒヤリをなくす、事前の注意喚起)

- 近畿地方の高速道路では、落下物等が8分に1件発生しています。対応カーナビの情報蓄積機能を利用して、落下物等の手前1kmの地点で注意喚起します。
- 前方に設置されたカメラでとらえた、渋滞状況等の映像を対応カーナビに表示します。
- その他に急カーブや合流部など事故が多発している箇所では注意喚起し、安全運転を支援します。



図3 落下物情報の表示例

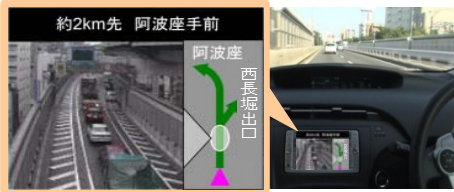


図4 前方映像の表示例

III ETC

- 対応カーナビは、ETCの機能も搭載しています。

その他のサービス

- 対応カーナビの一部機種では、サービスエリアなどのITSスポットでインターネットに接続できます。
- 今後、カーナビ地図の更新、支払い、物流車輛の運行管理などの展開が予定されています。